5．利益剰余金のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するものは下記のとおりであります。

①　国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元金償還額の累計	16,490,449,259円
当該借入金により取得した資産の減価償却費の累計	5,652,890,205円
利益剰余金に与える影響額（差引き）	10,837,559,054円

②　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額の累計　1,080,668,944円

③　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる未収附属病院収入のうち、国からの出資でなく譲与としたことによるもの　393,414,192円

④　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる医薬品及び診療材料について、国からの出資でなく譲与としたことによるもの　105,984,406円

12,417,626,596円

Ⅱ．損益計算書関係

1．当期総利益のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するものは下記のとおりであります。

①　国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元金償還額	1,173,470,296円
当該借入金により取得した資産の減価償却費	603,254,439円
当期総利益に与える影響額（差引き）	570,215,857円

②　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額　201,000円

570,416,857円

Ⅲ．キャッシュ・フロー計算書関係

1．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	8,742,089,830円
定期預金	△260,000,000円
資金期末残高	8,482,089,830円

2．重要な非資金取引

⑴　現物寄附の受入による資産の取得

建物	62,130,721円
構築物	956,000,000円
工具器具備品	311,564,823円
美術品・収蔵品	800,000円
図書	14,804,876円
合計	1,345,300,420円

⑵　ファイナンス・リースによる資産の取得

工具器具備品	45,225,720円
合計	45,225,720円

Ⅳ．国立大学法人等業務実施コスト計算書関係

引当外退職給付増加見積額のうち、国又は地方公共団体からの出向職員に係る引当外退職給付増加見積額は、△96,503,867円です。

Ⅴ．減損会計関係

該当事項はありません。

Ⅵ．重要な債務負担行為

平成27年３月31日現在の重要な債務負担行為は以下のとおりです。　（単位：円）

件名	契約額	うち翌期以降支払額
（医病）新中央診療棟増築その他工事	382,968,000	233,906,400
（吉田）椹野寮１号棟改修その他工事	340,459,200	141,445,835
（吉田）動物医療センター（リニアック室等）新営その他工事	125,970,800	76,290,800
（吉田）椹野寮１号棟改修その他機械設備工事	105,840,000	63,504,000

Ⅶ．金融商品に関する事項

1．金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定し、資金調達については国立大学財務・経営センターからの借入れ及びＡ格以上の金融機関からの借入れに限定しております。

資金運用にあたっては、国立大学法人法第35条において準用する独立行政法人通則法第47条の規定に基づき公債のみを保有しており、株式等は保有しておりません。また、未収附属病院収入は、医学部附属病院未収債権取扱要項に沿ってリスク管理を行っております。

国立大学財務・経営センター債務負担金及び長期借入金の使途は附属病院及び寄宿舎の整備資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入れを実施しております。

2．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：円）

	貸借対照表計上額（＊１）	時価（＊１）	差額
⑴　投資有価証券及び有価証券	1,899,178,595	1,908,520,000	9,341,405
満期保有目的債券	1,899,178,595	1,908,520,000	9,341,405
⑵　現金及び預金	8,742,089,830	8,742,089,830	―
⑶　未収附属病院収入	4,333,238,960	4,325,351,661	―
徴収不能引当金（＊２）	△　7,887,299		
⑷　国立大学財務・経営センター債務負担金（＊３）	(3,471,180,793)	(3,751,061,491)	△　279,880,698
⑸　長期借入金（＊４）	(4,912,581,907)	(4,891,185,511)	21,396,396
⑹　未払金（＊５）	(6,581,204,030)	(6,567,490,528)	13,713,502